

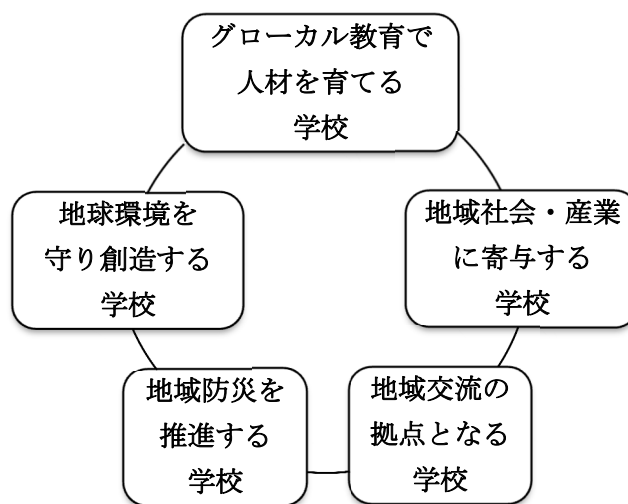
アクションプランについて（全国農業高等学校長協会）

実施開始 平成30年（2018年）7月  
検証開始 平成32年（2020年）10月  
目標達成 平成34年（2022年）3月  
新プラン 平成34年（2020年）4月

## 1 5つの基本方針（目指す学校像）

（平成30年7月1日現在）

### 農業高校のミッション



## 2 10の行動計画

5つの基本方針（目指す学校像）を具現化するために、10の行動計画を定めました。我々農業高校は、以下に示す行動計画に従って具体的な行動を起こして行きます。

No	行動計画	キーワード
1	「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。	アグリマイスター顕彰
2	「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	グローバル教育
3	「地域農業の生産を支える」教育を行います。	生産技術・経営
4	「地域の農業関連産業や6次産業に寄与する」教育を行います。	地域産業貢献・6次産業化
5	「地球環境を守り創造する」教育を行います。	環境技術・創造
6	「食農」教育を推進します。	食農教育
7	「地域資源を活用する」教育を行います。	資源活用
8	「地域交流の拠点となる」教育を行います。	ヒューマンサービス
9	「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。	地域連携
10	「地域防災を推進する」教育を行います。	地域防災

### 3 本校における 10 の具体的実践

#### 実践1 「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。

生徒一人一人が主体的にキャリア教育に取り組む、基礎学力の定着を図り、進路実現へ向けて、就業体験・資格取得等に取り組む、アグリマイスター顕彰制度を活用し、必要な力を身に付けるための教育を行います。

#### 実践6 「食農」教育を推進します。

種をまき、作物を育てて、収穫して大切にいただく。生産から加工、販売まで学ぶことから、食農教育を推進します。HACCPについて学びを深めます。

#### 実践2 「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。

「あづみの学（信州学）」の学びを通して地域を知り、海外研修を通して世界的な視野を持って地域を捉えることができる教育を行います。GAPについて学びを深めます。

#### 実践7 「地域資源を活用する」教育を行います。

地域の植物資源や伝統的な農産物、食品について学び、その活用や普及について考える力を身に付ける教育を行います。

#### 実践3 「地域農業の生産を支える」教育を行います。

地域の農業経営士、農業士、農業法人と連携し、地域農業の担い手確保や地域農業の在り方について学び、地域農業を支える教育を行います。

#### 実践8 「地域交流の拠点となる」教育を行います。

学校開放講座や地元小学校や保育園との交流事業、地域イベント等への協力を通して、地域の拠点となる教育を行います。

#### 実践4 「地域の農業関連産業や6次産業に寄与する」教育を行います。

地域の企業や大学と連携して農業生産物の加工技術や流通について学び、農業関連産業や6次産業化に寄与する教育を行います。

#### 実践9 「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。

各行政機関や生産者団体と連携した研修、共同研究に取り組み、地域の実情に応じた専門教育を行います。

#### 実践5 「地球環境を守り創造する」教育を行います。

食品残渣や廃棄物の再利用や緑化の推進を図り、環境に優しい農業など、地球環境を意識した教育を行います。

#### 実践10 「地域防災を推進する」教育を行います。

自然災害に関する学習を通して地域防災に対する意識を高め、地域と連携した防災教育を推進する教育を行います。